

13-2 NMR 研究会 常磁性の磁気共鳴

＜趣旨＞ 次世代を担う高分子材料、新素材の構造解析に、NMR 法が重要なツールの1つとなることは疑問の余地はないでしょう。次世代新素材の開発では、導電性を有する高分子や光電気変換機能を有する材料など、電子やイオンなどの挙動制御は欠かせない技術です。このような電子・イオンなどの運動性や材料の構造解析に NMR 法は貢献できると期待されますが、その一方で、電子の振る舞いを理解する上では、電子磁気共鳴法 (ESR、EPR) が有効です。今回、NMR 研究会では“常磁性の磁気共鳴”という主題を設定し、どちらかと言えば NMR 法が不得意な分野を取り上げました。常磁性の起源となる電子スピンは ESR の観測対象です。一方、その電子スピンと相互作用している核スピンは NMR の観測対象となります。第一線でご活躍中の講師の先生方をお招きし、有機太陽電池、ポリマーの劣化、導電性高分子などを ESR や NMR で解析した話題を提供してもらいます。さらに、最近めざましい発展を遂げてきている、電子を NMR の感度上昇に積極的に利用する DNP 法についても話題を提供していただきます。NMR が不得手にしている素材や解析分野をターゲットにした話題を、互いの分野の最先端の研究を紹介していただくことで、新たな研究アイデアが生まれることを期待します。今回の研究会が、皆様の研究の発展につながる討論と交流の場として多に活用されることを期待いたします。

主催 高分子学会 NMR 研究会

協賛 (予定) 日本化学会 日本核磁気共鳴学会 日本分析化学会

日時 平成 25 年 12 月 13 日 (金) 10:00~17:00

会場 東京海洋大学・楽水会館 (品川キャンパス、東京都港区港南 4-5-7)

交通 JR・京浜急行 品川駅 徒歩 10 分

プログラム

＜10:00~10:55＞

1. 熱処理ポリアニリン酸素還元触媒の固体 NMR (東工大) 黒木 重樹

＜10:55~11:50＞

2. ESR によるポリマーの評価 (ブルカーバイオスピン) 原 英之

＜13:00~13:55＞

3. ESR 法を用いた有機太陽電池のマイクロ解析 (筑波大) 丸本 一弘

＜13:55~14:50＞

4. 常磁性固体の四極子核 NMR (山形大) 飯島 隆広

＜14:50~15:10＞ 休憩

＜15:10~16:05＞

5. 常磁性分子の NMR の魅力と可能性 (筑波大) 山本 泰彦

＜16:05~17:00＞

6. 溶液 DNP の実際と応用 (高知大) 津田 正史

参加要領

1) 定員 100 名

2) 参加費 (税込) 企業 5,250 円 大学・官公庁 3,150 円 学生 2,100 円
名誉会員・終身会員・フェロー・ゴールド会員・シニア会員 2,100 円
NMR 研究会メンバー 無料

3) 申込方法 学会ホームページ <http://www.spsj.or.jp/entry/> からお申込ください。
参加証、請求書 (希望者のみ) を順次送付いたします。
※振込手数料は振込人にてご負担くださいますようお願いいたします。

4) 振込先 銀行振込<三菱東京 UFJ 銀行銀座支店 (普通) 1126232 公益社団法人 高分子学会>

郵便振替<00110-6-111688 公益社団法人 高分子学会>

5) その他 プログラムは予告なく変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

問合先 高分子学会 13-2NMR研究会係
〒104-0042 東京都中央区入船 3-10-9 新富町ビル 6F
電話 03-5540-3771 FAX 03-5540-3737

行事参加申込 QR コード

<http://www.spsj.or.jp/entry/>

